

令和2年度

かごしま県民大学中央センター事業報告書17

# かごしまの生涯学習



「人づくり つながりづくり 地域づくり」の実現を目指して



鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

## はじめに

かごしま県民大学中央センター（以下「本センター」）の令和2年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告します。

本センターは、平成30年12月の中教審答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」の「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」をキーワードに、平成31年2月に策定された「第3期鹿児島県教育振興基本計画」に基づき、県民の皆様が生涯を通じて学び活躍できる環境づくりの実現を目指して、「調査・研究」「学習機会の提供及び人材育成」「学習情報の提供」の視点で事業を行っております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、多くの事業において、日程や実施方法の変更を余儀なくされました。未だ出口の見えないコロナ禍においても、「学び」を止めないために、施設の特性を生かしてオンラインによる「学び」の提供にも取り組んで参りました。具体的には、新たにタブレットとモバイルルーター等を整備し、学習推進係、学習情報係の執務室を統合して新たな時代の生涯学習の在り方を模索していくこととしました。また、昨年度から、本県の生涯学習センターとして、これまで以上に市町村・大学等と課題を共有し、連携を深め、本県生涯学習の中核施設としての役割を果たせるよう、事業の方向性等の検討を進めて参りました。

本年度の新たな取組として、「調査・研究」では、「かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会」を実施しました。研究テーマを「本県の生涯学習推進のための、市町村支援の立場に立った生涯学習推進センター（本センター）と高等教育研究機関としての大学等の協力体制のあり方」として、県内4つの大学から7人の研究者に参加いただき、各大学等が実施する公開講座や地域貢献事業等の状況等について情報交換し、今後の連携のあり方について協議しました。

「学習機会の提供及び人材育成」では、本年度から「かごしま青年塾」運営事業を本センターの主催事業として実施しました。あわせて、先進的な取組を行う企業等を訪問する現地研修を増やし、講師との対話、意見交換の時間を増やすなど、事業の充実に努めました。また「かごしま県民大学連携講座」は、県民交流センターを会場に実施する講座を、「かごしま県民大学とことんなまなぶー講座」として新たに位置づけ、事業の重点化と事務の効率化に努めました。また「学習情報の提供」では、「メールマガジン」を月1回、県内市町村や教育機関等に配信し情報の提供に努めてまいりました。

本報告書が市町村をはじめ、多くの社会教育関係者の皆さまに活用され、各所での事業推進の一助となれば幸いです。

結びに本報告書の作成に当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者並びに各関係機関の皆様深く感謝申し上げますとともに、今後とも本センターの各種事業に、御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

かごしま県民大学中央センター  
所長 青谷 有美代

# 目 次

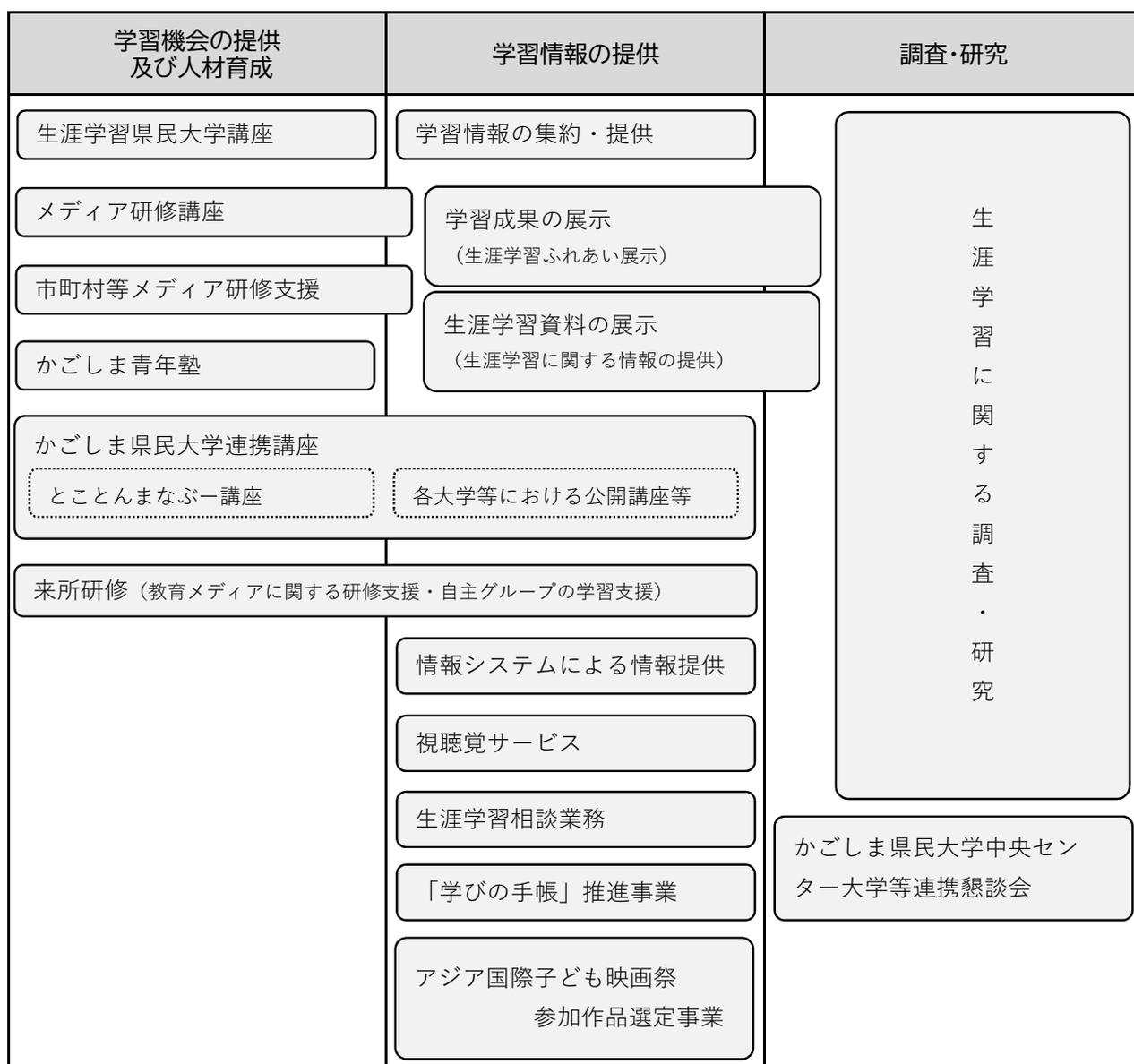
## はじめに

I	事業体系	1
II	学習機会の提供及び人材育成	2
1	生涯学習県民大学講座	2
2	メディア研修講座	6
3	市町村等メディア研修支援	7
4	かごしま青年塾	8
5	かごしま県民大学連携講座	10
6	来所研修	13
III	学習情報の提供	14
1	学習情報の集約・提供	14
2	学習成果の展示	15
3	生涯学習資料の展示	17
4	情報システムによる情報提供	18
5	視聴覚サービス	19
6	生涯学習相談業務	20
7	「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業	21
8	アジア国際子ども映画祭参加作品選定事業	22
IV	調査・研究	23
1	生涯学習に関する調査・研究	23
2	かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会	26

※ 次ページ以降の凡例 「中央センター」→かごしま県民大学中央センター  
「交流センター」→かごしま県民交流センター

(注) 調査結果等に示す割合は、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%と一致しない場合があります。

# I 事業体系



(参考) 主催講座の講座数及び受講者数

事業	令和2年度		令和元年度	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数
生涯学習県民大学講座	19 講座	408 人	26 講座	1,707 人
かごしま県民大学連携講座	6 講座	298 人	26 講座	2,555 人
メディア研修講座	3 講座	65 人	7 講座	64 人
かごしま青年塾	1 講座	38 人	—	—
人材育成講座	—	—	5 講座	77 人
合計	29 講座	809 人	64 講座	4,403 人

※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で予定していた講座が相次いで中止となった。

## II 学習機会の提供及び人材育成

### 1 生涯学習県民大学講座

#### (1) 目的

市町村や大学等と連携して、現代的課題や市町村が抱える課題を解決するための学習機会を提供することにより、市町村の実情に即した生涯学習の振興を支援する。

#### (2) 実施主体

中央センター及び開催を希望する市町村教育委員会

#### (3) 内容

現代的課題や市町村が抱える課題の解決に向けた内容  
(中央センターと開催市町村教育委員会が協議して決定)

#### (4) 概要

##### ア 会場及び講座数

講座開設市町村等	市町村数	講座数
徳之島町，西之表市，さつま町，薩摩川内市，指宿市，知名町 錦江町，屋久島町，枕崎市	9	20
交流センター	1	6
合 計	10	26

※ 錦江町・屋久島町・枕崎市は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止  
徳之島町は、4講座のうち1講座中止

##### イ 講師

各講座内容に応じた専門家

##### ウ 講座型式

(ア) テーマ学習型…1講座90分，各会場2講座，講義形式を基本とする講座

(イ) プロジェクト型…課題解決に向けて，形式や手法など，効果的な方法を中央センターと協議しながら一緒に考えていく講座

##### エ 受講者

県民

##### オ 定員

1講座30人以上（施設の状況等に応じて設定）

##### カ 受講料

無料

#### (5) その他

ア 広報・準備及び運営等は市町村教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

イ 講師の旅費及び謝金は県が負担する。

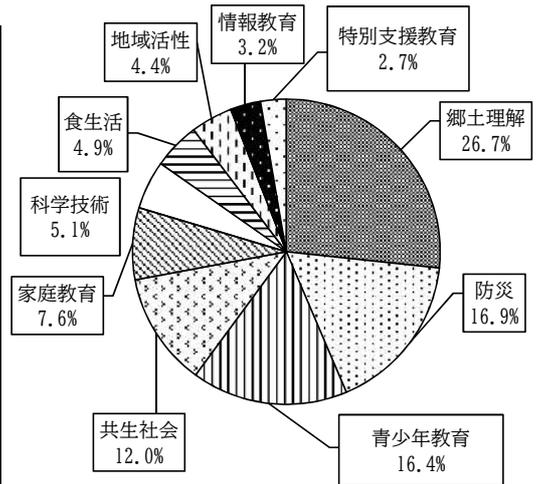
## (6) 講座一覧及び受講者数

市町	テーマ	講座名	講師(敬称略)	会場	期日	時間	受講者数	
★徳之島町①	食生活	【「早寝・早起き・朝ご飯」シリーズⅠ】 体にいい朝ご飯、しっかり食べていますか？～朝ご飯を見直そう～	鹿児島県立短期大学生活科学科 教授 町田 和恵	徳之島町 生涯学習センター	1/24 (日)	中止	-	
	情報教育	【「早寝・早起き・朝ご飯」シリーズⅡ】 インターネットとの上手な関わり方	かごしま県民大学中央センター 指導主事 坂元 一善			10:30～ 12:00	13	
指宿市	青少年教育	非行の背景及び非行少年への支援について	鹿児島少年鑑別所 首席専門官 三角 健	ふれあいプラザ なのはな館	12/19 (土)	13:00～ 14:30	31	
	青少年教育	子どもたちの生きる力を養える体験活動 ～心を揺さぶる体験から生まれるもの～	鹿児島大学共通教育センター 准教授 福満 博隆			15:00～ 16:30	24	
さつま町	郷土理解	明治時代の鹿児島の記録は、さつま町にあり！「薩摩見聞記」を読む	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂	宮之城 ひまわり館	12/6 (日)	10:30～ 12:00	43	
	防災	かごんまお天気百話 ～豪雨災害から身を守るために～	MBC南日本放送 気象予報士 亀田 晃一			13:30～ 15:00	23	
錦江町	健康・医療	健康寿命延伸のための運動の効果	鹿屋体育大学スポーツ生命科学系 教授 中垣内 真樹	錦江町 文化センター	8/9 (日)	10:30～ 12:00	-	
	郷土理解	郷土芸能から学ぶ 鹿児島！ 錦江町の歴史・文化	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂			中止	-	
屋久島町	人権教育	一人ひとりの人権が尊重され「誰一人取り残さない」地域づくりについて	オフィスピュア 代表 たもつ ゆかり	屋久島離島開発 総合センター	8/20 (木)	13:30～ 15:00	-	
	郷土理解	屋久島の海は知られざる食材の宝庫	鹿児島大学水産学部 教授 大富 潤			中止	-	
西之表市	郷土理解	声を大にして伝えたい！種子島の歴史	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂	西之表市民会館	11/21 (土)	10:30～ 12:00	27	
	食生活	「食べ物にはドラマがある」 ～心を育む食と農～	NPO法人霧島食育研究会 理事長 千葉 しのぶ			13:30～ 15:00	20	
★徳之島町②	家庭教育	【「早寝・早起き・朝ご飯」シリーズⅢ】 眠育から健康力を高めるだけでなく脳を育むⅠ	理化学研究所生命機能科学研究センター 上級研究員 水野 敬	徳之島町 生涯学習センター	10/17 (土)	13:00～ 14:30	10	
	家庭教育	【「早寝・早起き・朝ご飯」シリーズⅣ】 眠育から健康力を高めるだけでなく脳を育むⅡ				15:00～ 16:30	10	
★知名町	家庭教育	「うとうしい」けれど「ほっておかないで」 思春期の子どもの特性と関わりを考える	鹿児島純心女子短期大学生活学科 准教授 森木 朋佳	あしびの郷・ちな	1/10 (日)	13:00～ 14:30	11	
	特別支援教育	‘発達デコボコ’とうまく付き合う ～一緒に探る子育てのヒント～	志学館大学心理相談センター 臨床心理士 野元 明日香			15:00～ 16:30	11	
枕崎市	健康・医療	健康食品ウソホント	鹿児島大学大学院理工学研究科 准教授 有馬 一成	枕崎市市民会館	11/19 (木)	13:00～ 14:30	-	
	情報教育	子どもとメディアの危険な関係 ～ネット依存と健康被害～	NPO法人ネットポリス鹿児島 理事長 戸高 成人			中止	-	
薩摩川内市	地域活性	ファシリテーションを学ぼう ～現場の課題をつかみとるコツとワザ～	鹿児島大学法文学部 准教授 酒井 佑輔	薩摩川内市 中央公民館	12/12 (土)	10:00～ 12:00	18	
	青少年教育	子どもたちの生きる力が育つ体験活動 ～仲間との成功体験から生まれるもの～	鹿児島大学共通教育センター 准教授 福満 博隆			14:00～ 16:00	12	
鹿児島市	防災	【「みんなで防災」シリーズⅠ】 自然災害に備えるⅠ	鹿児島大学共通教育センター 准教授 井村 隆介	交流センター	8/2 (日)	13:00～ 14:30	24	
	防災	【「みんなで防災」シリーズⅡ】 自然災害に備えるⅡ				14:45～ 16:15	22	
	郷土理解	御楼門と守礼の門～鹿児島城と首里城～	鹿児島県立図書館 館長 原口 泉		8/23 (日)	10:30～ 12:00	39	
	共生社会	身近にあるパラスポーツの魅力とスポーツ を通じた地域での共生社会の実現を目指して	鹿児島県障害者スポーツ指導者協議会 副会長 大迫 勝嗣			13:30～ 15:00	8	
	共生社会	みんなのデザイン：行政資料や学校プリント を見やすく、読みやすく	千葉大学大学院理学研究院 特別研究員 片山 なつ		11/1 (日)	10:30～ 12:00	41	
	科学技術	ロボットとAIの現在・未来	第一工業大学機械システム工学科 講師 武田 隆宏			13:30～ 15:00	21	
※徳之島町①は、実施内容を変更して実施（2講座→1講座） ※★印の会場は、オンラインにて実施							合計	408

(7) 受講者の状況

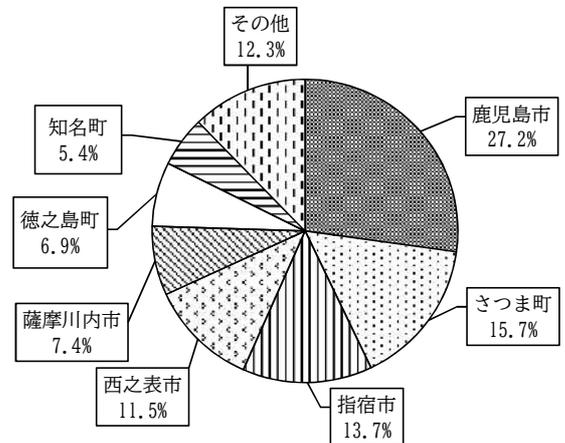
ア テーマ別

テーマ	講座内容の区分	講座数	受講者数 (人)	割合 (%)	合計	
					受講者数 (人)	割合 (%)
教育・子育て	家庭教育	3	31	7.6	122	29.9
	特別支援教育	1	11	2.7		
	青少年教育	3	67	16.4		
	人権教育	1	0	0.0		
	情報教育	2	13	3.2		
医療・健康	医療・健康	2	0	0.0	20	4.9
	食生活	2	20	4.9		
地域・郷土	地域活性	1	18	4.4	196	48.0
	防災	3	69	16.9		
	郷土理解	5	109	26.7		
その他	科学技術	1	21	5.1	70	17.2
	共生社会	2	49	12.0		
合計		26	408	100	409	100.0



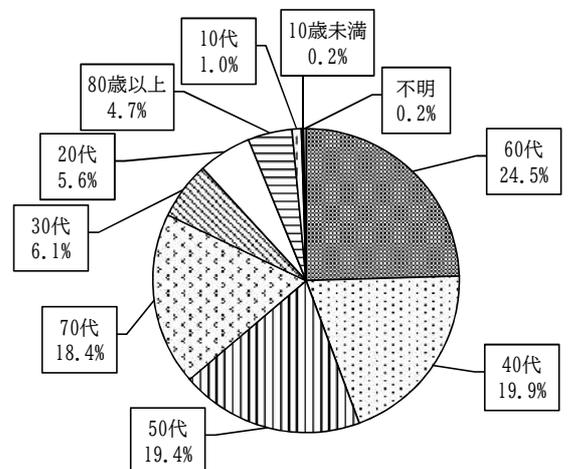
イ 市町村別

No.	市町村	受講者数 (人)	割合 (%)
1	鹿児島市	111	27.2
2	さつま町	64	15.7
3	指宿市	56	13.7
4	西之表市	47	11.5
5	薩摩川内市	30	7.4
6	徳之島町	28	6.9
7	知名町	22	5.4
8	始良市	9	2.2
9	霧島市	8	2.0
10	鹿屋市	8	2.0
11	南さつま市	7	1.7
12	枕崎市	4	1.0
13	出水市	4	1.0
14	日置市	3	0.7
15	伊仙町	3	0.7
16	いちき串木野市	2	0.5
17	志布志市	1	0.2
18	天城町	1	0.2
合計		408	100.0



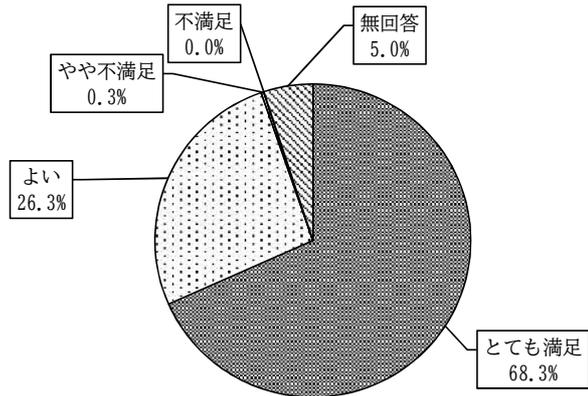
ウ 年代別

年齢	受講者数 (人)	割合 (%)
10歳未満	1	0.2
10代	4	1.0
20代	23	5.6
30代	25	6.1
40代	81	19.9
50代	79	19.4
60代	100	24.5
70代	75	18.4
80歳以上	19	4.7
不明	1	0.2
合計	408	100.0



(8) 受講者の満足度

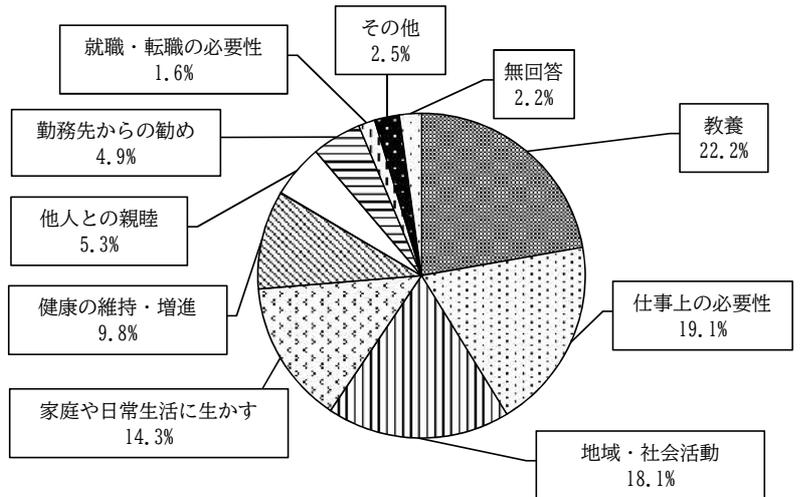
項目	人数 (人)	割合 (%)
とても満足	244	68.3
満足	94	26.3
やや不満足	1	0.3
不満足	0	0.0
無回答	18	5.0
合計	357	100.0



(9) 受講目的

項目	人数 (人)	割合 (%)
教養	163	22.2
仕事上の必要性	140	19.1
地域・社会活動	133	18.1
家庭や日常生活に生かす	105	14.3
健康の維持・増進	72	9.8
他人との親睦	39	5.3
勤務先からの勧め	36	4.9
就職・転職の必要性	12	1.6
その他	18	2.5
無回答	16	2.2
合計	734	100.0

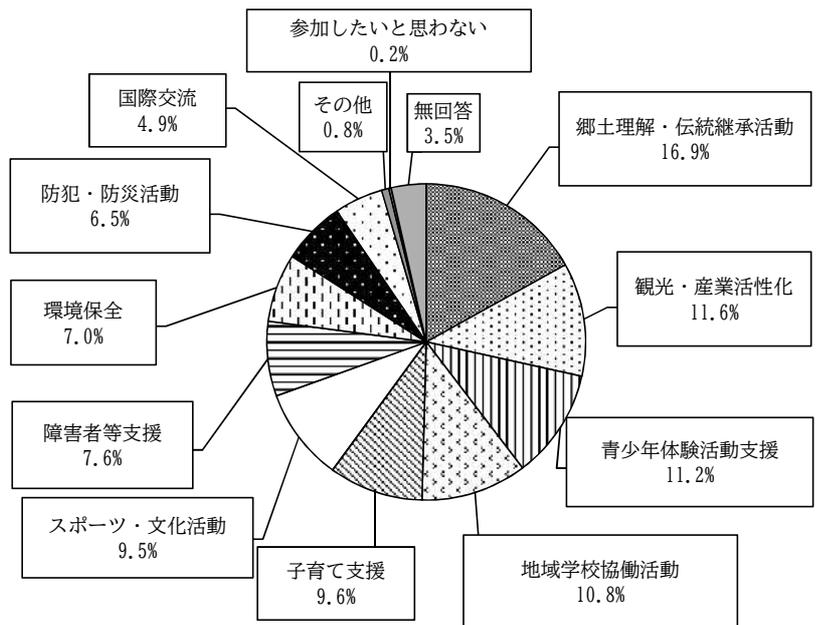
※複数回答による



(10) 受講後に参加したい活動

項目	人数 (人)	割合 (%)
郷土理解・伝統継承活動	157	16.9
観光・産業活性化	108	11.6
青少年体験活動支援	104	11.2
地域学校協働活動	100	10.8
子育て支援	89	9.6
スポーツ・文化活動	88	9.5
障害者等支援	71	7.6
環境保全	65	7.0
防犯・防災活動	60	6.5
国際交流	46	4.9
その他	7	0.8
参加したいと思わない	2	0.2
無回答	33	3.5
合計	930	100.0

※複数回答による



## 2 メディア研修講座

### (1) 概要

#### ア 趣 旨

県内市町村等におけるメディア研修の充実及び視聴覚教材の利用促進を図るために、市町村等社会教育・生涯学習関係者を対象として、パソコンやスマートフォン、タブレット等を使用した講義・実習等を行うと共に、市町村等における指導者や指導補助者として教育メディアを有効に活用できる人材を育成する。

#### イ 指導者

中央センター指導主事等

#### ウ 場 所

交流センター（西棟5F制作演習室）

### (2) 講座内容

#### ア 市町村等社会教育・生涯学習関係者対象講座 3講座

No.	研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者(人)
1	社会教育主事等研修会	7月8日(水)	・社会教育におけるメディア活用 ・著作権 ・情報モラル, 情報セキュリティ	43
2	教育メディア担当者研修会	8月21日(金)	・教育メディア・映像教材の利用促進 ・視聴覚ライブラリーの運営 ・視聴覚教材管理システムの利用法	11
3	タブレット・スマホで情報発信 ～教育メディアの効果的な活用～	8月21日(金)	・映像素材の活用 ・撮影・編集の実際 ・生涯学習と映像利用	11
合計				65

### (3) 受講者等の活動例

#### ○ メディア研修講座

No.	氏名(敬称略)	受講した講座	講座を生かした実践・感想等
1	枕崎市 教育委員会 生涯学習課  宮下 和也	教育メディア担当者研修会 タブレット・スマホで情報発信 ～教育メディアの効果的な活用～	一人につき1台のパソコンを利用して予約方法やデータの検索などを実際に行うことで、利用者の立場に立った研修であり、とても有意義であった。また、書体の種類、色の使い方、イラストの引用方法など基本的な内容から学習することができ、現在の仕事にいかせるものとなっている。
2	南さつま市 教育委員会 生涯学習課  下釜 瞳	教育メディア担当者研修会 タブレット・スマホで情報発信 ～教育メディアの効果的な活用～	広報誌・チラシ作成での文字のデザインや色の使い方、イラストの効果や興味を引くキャッチコピーの作り方について学んだ。視覚的に伝える「ピクトグラム」を入れることで、見やすい資料を作ることができた。今後も学んだことを生かし、見やすくかつ興味を引くようなチラシ等を作成していきたい。

### 3 市町村等メディア研修支援

(1) 趣 旨

市町村等が実施する情報モラルや情報セキュリティ、情報機器活用等に関する研修へ職員を派遣し、市町村等における教育メディア活用の促進と教育的課題の解決を図る。

(2) 主 催

県内市町村等

(3) 派遣する職員

中央センター指導主事等

(4) 場 所

県内各市町村等の会場

(5) 派遣する研修の種類

- ア 情報モラル・情報セキュリティに関する研修
- イ 映像活用（ビデオ撮影・編集，デジタルカメラ撮影・編集）に関する研修
- ウ オンライン講座での講師及び技術支援

(6) 派遣方法

- ア 派遣を希望する場合は，事前に本センター学習情報係と日時・内容等を調整する。
- イ 派遣決定後，中央センター所長宛へ文書にて派遣依頼を送る。
- ウ 派遣に掛かる旅費は，市町村が負担

(7) 令和2年度派遣状況

	日時		支援市町村(団体)	研修会名称等	備考
	月	日			
1	-	-	薩摩川内市視聴覚ライブラリー (中止)	令和2年度パソコンによるビデオ編集講座	
2	7	3	県議会事務局	写真撮影技術講習会	
3	7	3	南薩教育事務所	第1回南薩地区社会教育担当者研修会	
4	-	-	南大隅町教育委員会 (中止)	令和2年度教育メディア研修(初級)講座	
5	9	12	曾於市立櫛小学校	親子プログラミング教室	
6	10	2	南薩教育事務所	令和2年度南薩地区社会教育委員研修会	
7	10	16	始良・伊佐教育事務所	令和2年度第4回始良・伊佐地区社会教育関係職員研修会	
8	11	5	指宿市教育委員会社会教育課	指宿市教育委員会社会教育課職員研修会	オンライン実施
9	11	11	県立図書館	県図書館大会	
10	11	13	指宿市立山川中学校	指宿市立山川中学校家庭教育学級	
11	11	18	鹿児島市立吉野小学校	鹿児島市立吉野小学校家庭教育学級	
12	11	28	県社会教育課	令和2年度鹿児島県高校生ビブリオバトル大会	
13	1	30	枕崎市PTA連絡協議会	令和2年度鹿児島県PTA活動研究委嘱公開(南薩大会)	オンライン実施
14	2	6	西之表市教育委員会	令和2年度西之表市家庭教育講演会	オンライン実施
15	2	10	大隅教育事務所	第2回社会教育行政研修会	オンライン実施
16	2	26	枕崎市教育委員会	令和2年度第3回枕崎市校外生活指導連絡会	オンライン実施
17	3	2	屋久島町教育委員会・屋久島町立小瀬田小学校	令和2年度屋久島町立小瀬田小学校子どものネット利用ミニ研修会	オンライン実施
18	3	18	霧島市教育委員会社会教育課	令和2年度霧島市社会教育コーディネーター研修会	オンライン実施

(8) 成果と課題 (○…成果 ▲…課題)

- 情報モラル関係の講座では，ネットトラブルを子供たち自身の事としてとらえさせるための工夫と家庭内ルールをつくる際のポイントに加え，ゲーム課金について保護者や教育関係者等に考えてもらうよい機会となった。
- 本センターから市町村等関係機関へオンラインによる講座を行うと共に，市町村がオンライン講座を行う際の技術支援を本センターが行うことで，各市町村でより充実した研修会を運営できた。
- ▲ オンライン講座は，運営の仕方や講座の進め方等工夫改善の余地がまだまだあるので，今年度の経験を基に，さらに効果的な研修講座や技術支援ができるように研究していく必要がある。

## 4 かがしま青年塾

### (1) 目的

これからの鹿児島を担う青壮年層を対象に、各界で活躍する経営者やリーダー等との交流や現地での研修等を通して、次世代かごしまの地域を支えるリーダーを育成する。

### (2) 主催

鹿児島県教育委員会

### (3) 対象者及び定員

学生，社会人で，原則毎回参加できる県内在住の人（18歳～45歳程度）30人程度（先着順）

### (4) 期日及び会場

令和2年7月～令和2年12月（月1回程度，原則日曜日に実施）

かごしま県民交流センター，県内青少年研修施設ほか

### (5) 事業内容

講演会，現地研修，宿泊研修，交流会等

### (6) 受講料

無料（但し，宿泊研修等の必要経費は実費負担）

### (7) 塾生

38人（学生15人 社会人23人）

### (8) 塾生の感想

- ・ 普段，個人ではお会いすることのできない講師の話が聞けた。講師の方々の思いや考え方などから新しい発見があり，様々なことを発見できた。
- ・ グループ活動において，意見を積極的に発表する中で，コミュニケーション力，リーダーシップ力が身についた。
- ・ 様々な人との交流があり見識に加え人脈も広げることができた。同世代や若い方々の意識やレベルの高さに大変刺激を受けた。
- ・ 学生と社会人が交わる場，様々な業種の方々の話を聞く機会は普段得られない。同じ熱量を持っている塾生と出会えたことがかけがえのない思い出になった。

### (9) 活動の様子



特別講演（リモート）



現地研修



閉講式

## (10) 実績

主な活動等		日時等	主な内容・講師等
第一回	開講式	7月19日(日) 10:30~12:30 交流センター	◆オリエンテーションⅠ(事業概要説明等) ◆知事あいさつ ◆来賓あいさつ(鹿児島県議会議長) ◆オリエンテーションⅡ(自己紹介等)
第二回	宿泊研修 (南薩方面) 特別講演	9月26日(土) 27日(日) 14:00~ 翌12:00 南薩少年自然の家	◆グループワーク (信頼関係づくりとコミュニケーションスキルの向上) ◆特別講演 講師:久保 哲也 SMBC日興証券株式会社顧問 演題:「人生100年時代をどう生きるか」
第三回	特別講演	10月18日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師:金丸 恭文 フューチャー株式会社代表取締役会長 兼社長グループCEO 演題:「Challenge to Innovation」
第四回	特別講話 現地研修 (始良方面)	10月25日(日) 10:00~17:00 交流センター他	◆特別講話 講師:島津 公保 株式会社島津興業取締役相談役 演題:「歴史を学び、歴史を活かす~次世代への期待~」 ◆高いポテンシャルを秘めた県内企業訪問 ・ヘンタ製茶有限会社(霧島市牧園町) 講師:邊田 孝一 代表取締役 ・有限会社山下製畳(始良市加治木町) 講師:山下 弘 取締役専務
第五回	現地研修 (北薩方面)	11月8日(日) 10:00~17:00 交流センター他	◆高いポテンシャルを秘めた県内企業訪問 ・有限会社尾塚水産(阿久根市) 講師:尾塚 エイ子 代表取締役社長 ・農業生産法人株式会社ゼロプラス(いちき串木野市) 講師:松田 健 代表取締役社長
第六回	交流会	11月29日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆県内企業等の若手リーダーの先進事例発表 ◆県内若手リーダーとの意見交換 講師:福島 大輔 NPO法人桜島ミュージアム理事長 丸野 博和 NPO法人L a b蒲生郷副理事長 小野 公裕 有限会社サイバーウェーブ代表取締役社長 佐々木 こづえ 株式会社アピール代表取締役社長
第七回	特別講演 閉講式 ふりかえり	12月20日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師:片野坂 真哉 ANAホールディングス株式会社 代表取締役社長 演題:「志千里に在り ~青年の志が鹿児島を変える、世界を変える~」 ◆閉講式 塾生代表あいさつ 知事あいさつ ◆ふりかえり・まとめ (写真でふりかえるかごしま青年塾)

## 5 かがしま県民大学連携講座

### (1) 目的

県民の多様化・高度化する生涯学習ニーズに応えるため、大学等などの教育機関、市町村等公的機関、民間の団体等と連携して公開講座等を実施する。

### (2) 事業概要

#### ア 講座名

かがしま県民大学連携講座

(うち、交流センター内で実施する講座は「かがしま県民大学とことんまなぶ一講座」という。)

#### (7) かがしま県民大学連携講座（交流センター外で各大学等において開催される講座）

中央センターの役割・・・講座情報を集約しホームページ等で広く広報する

【令和2年度実施予定】

大学等	6校(28講座)
-----	----------

#### (4) かがしま県民大学とことんまなぶ一講座（交流センター内で開催される講座）

中央センターの役割・・・会場確保や講座運営の支援等 ※詳細は下記

【令和2年度実施予定】

大学等	7校(7講座21回)	その他の団体	6団体(6講座17回)
-----	------------	--------	-------------

#### イ 対象

県民

#### ウ 講座内容

現代的課題等に基づく内容等

### (3) かがしま県民大学とことんまなぶ一講座（以下「とことんまなぶ一講座」）について（詳細）

#### ア 主催

中央センターと、とことんまなぶ一講座を実施する団体等（以下「実施団体等」。）との共催

#### イ 連携可能な機関・団体等

次の(7)～(ホ)のいずれかに該当し、暴力団及びこれに準ずる団体と関わっていない者

#### (7) 大学等（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校）

#### (4) 行政機関等（国・県・市町村及び公益財団法人等）

#### (ウ) 企業・民間等（鹿児島県内に主たる事務所を有する企業・民間教育団体）

#### (エ) NPO法人等（鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人）

#### (ホ) その他、生涯学習の推進に資すると中央センターが認める団体等（自主グループ等）

#### ウ 講座内容

広く県民を対象とした講座で、次の事項を全て満たすこと

#### (7) 次の項目のいずれかに該当するものであること。

- ・ 県民の多様化・高度化するニーズや現代的課題に関する内容
- ・ 独自性・専門性を生かした高度で専門的な内容
- ・ 中央センターが必要と認める内容

#### (4) 次の項目のいずれにも該当しないものであること。

- ・ 営利を目的とする内容を含むもの(営利事業の広報, 人材や物品購入の勧誘を含む。)
- ・ 特定の政党, 宗教, 宗派の利害を目的とした内容を含むもの
- ・ 公序良俗に反する内容を含むもの
- ・ 公演(演奏会, 演劇等)に類するもの

#### エ 講座数

1団体等当たり1講座(1講座の実施回数は5回以内)

※ 大学等については, 1学科当たり1講座

オ 「とことまなぶー講座」の実績

No.	実施機関	講座名	期 日	回数	定員	受講者数
1	鹿児島大学病院 歯科麻酔科	歯が痛いのに歯は悪くない 非菌原性歯痛を知る	12月6日(日)	1	50	16
2	鹿屋体育大学	健康づくり・介護予防講座 歩く脳トレ運動 ～スクエアステップ～	11月11日(金) ～ 11月25日(金)	3	各 30	42
3	鹿児島国際大学	鹿児島の歴史や文化，郷土 の先人についての講座	中止	—	400	—
4	第一工業大学	観測者依存性(相対性)をめ ぐる物理学の発展	5月23日(土) ～ 8月22日(土)	3	各 50	38
5	鹿児島純心女子短期大学 (江角学びの交流センター)	シルバー世代のための健 康・教養講座	7月11日(土) ～ 8月29日(土)	5	各 30	35
6	放送大学鹿児島学習センター	公開講演会	9月20日(日) ～ 2月21日(日)	4	各 80	107
7	鹿児島工業高等専門学校	生活の中の工学シリーズ	中止	—	各 40	—
8	鹿児島県マルチメディア教 育研究会	メディア教育セミナー2020	中止	—	100	—
9	鹿児島県視聴覚教育研究協 議会	鹿児島県放送教育・情報教 育研究セミナー	中止	—	80	—
10	NPO法人global	恋する鹿児島～英会話で伝 える街の魅力～	中止	—	各 15	—
11	ゴッタン成音会	ゴッタンを作って弾こう！ 唄おう！	中止	—	各 15	—
12	韻天流天吹塾	さつまの伝統楽器天吹を自 作し天吹の音色を楽しむ	中止	—	各 15	—
13	記の向くMAMA	あなたに優しい心理学	9月12日(土) ～ 2月6日(土)	4	各 20	60
【講座合計】 6講座 20回 受講者総数 298人						

## カ 成果と課題

### (7) 成果

- ・ 専門家以外にはあまり知られていない、量子力学に基づいた科学や技術について解説した。「量子技術」は、かつてのIT革命のように、次世代の産業技術革命として期待されており、日本を含め各国がその覇権争いを繰り広げようとしている。最近では量子コンピュータや量子暗号についてのニュースも頻繁に取り上げられており、これらに関する本講座は、参加者に大変興味を持っていただき、多くの質問もいただいた。
- ・ コロナ禍ではあるが、比較的限られた人数であったため、ソーシャルディスタンス・消毒・検温に細心の注意を払いながら実施することができた。年齢層は高齢の方々であるが、熱心な聴講と活発な交流ができた。
- ・ 経済の基本用語や今と昔の経済の比較についての理解とともに、経済政策については政党間の違いよりも政治家個人の考え方が大きく影響していたことを理解していただいた。また今回の講演を通して、経済についてもっと学びたいという意欲の喚起にも繋がった。
- ・ 鉢の号数の数え方や種類、材質などの基本的な事項から、水耕栽培セット等の実物の展示・紹介をはじめ、野菜や観賞植物の育て方の基礎とともに、世界（オランダやイスラエル）と比較した一定面積あたりの生産収量が劣る日本農業の現状や、種子の生産を外国に依存している現状などについて理解を深めていただいた。また今回の講演を通して、多くの受講者から野菜や観賞植物の栽培に挑戦してみたいという意見が寄せられ、満足度の高い講演会となった。
- ・ スクエアステップは鹿児島県内全域に普及できていない。今回は特に鹿児島市の方にスクエアステップを知って頂く機会となった。アンケート調査から「ステップで筋力増強、脳トレになってとても良かった」などの声が聞かれ、大変好評であった。
- ・ 歯科医療での慢性疼痛である非菌原性歯痛は、社会的損失も多い。今回の講座には、実際の疾患で悩まされている人から医療者まで来られており、人数こそすくなかったが、疾患への理解や適切な対応などの知識を深めてもらうことができたこととアンケート結果より示唆された。これにより、間接的に不要な医療機関受診などの社会的損失につながると考えられた。
- ・ 毎回参加して下さる方々が元気そうで安心感を得た。

### (8) 課題

- ・ 当初5回の講座を計画していたが、県内の新型コロナウイルス感染拡大時期の2回分を中止することになってしまった。マスク着用や検温など対策を施したうえ、受講者の間隔を空けるため定員も当初の半分以下にしたことで、早々に定員に達し、受付を終了しなければならない回もあった。今後もこの状況が続くのであれば、あらかじめ広さに余裕のある研修室を設定するなどの対応が必要になるだろう。
- ・ 毎年テーマを工夫し広報をしているが、受講生の数が伸び悩んでいる。多方面の広報活動と受講しやすい条件を整えていくことが課題である。
- ・ 今後も人々のニーズに応える講座テーマの設定と広報活動の充実に努める必要がある。
- ・ 今後、鹿児島県内の介護予防の運動として取り入れてもらえるように普及を図りたい。
- ・ 当該疾患における適切な医療機関の受診のためには、医療者も含め、知識や対処法などを多くの人に知っていただく必要がある。今回の講座のみでは不十分であり、継続した活動が必要である。
- ・ 参加者は、心理学の勉強をしたい思いが強くなるので、もっと自身の教材を揃えたいと思った。

## キ 講座の様子



令和2年度 かがしまの生涯学習

## 6 来所研修

### (1) 趣旨

教育メディアに関する研究テーマや課題をもったグループ・団体又は個人が来所して、職員の指導・助言のもとに、理論研究や操作演習を通して問題解決を図り、併せて教育メディアの利用促進を図る。

### (2) 対象及び内容

#### ア 自主グループによる来所研修

- 中央センターで実施しているビデオやパソコンに関する講座を受講した人を中心に活動しているグループを対象とする。
- 令和3年3月現在、4グループが自主的に活動している。(ビデオ関係3グループ・パソコン関係1グループ)

#### イ 県民による個人での来所研修

- 原則として中央センターの講座修了者を対象とする。
- 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。

#### ウ 学校教育・社会教育関係者による来所研修

- 電話や文書で事前に所属名・研修者氏名・研修内容を確認し、来所研修申込みを受け付ける。
- 部活動や学級活動など児童生徒が来所研修する場合は、顧問の教員や担当者の同伴を条件とする。

### (3) 実施日

原則として、開館日の午前9時～午後5時とする。ただし、休館日・研修講座開催日・業務に支障をきたす恐れのある日は除く。

### (4) 成果

#### ア 地域社会への貢献

各地域の美しい自然や優れた伝統芸能・地域行事等を映像化して、地域公民館や学校・教育関係等へ提供している。

#### イ 県及び全国視聴覚教材コンクールへの出品

来所研修をしている方が制作したビデオ作品やパソコン教材が、県自作視聴覚教材コンクールに毎年多数応募されている。全国のコンクールに出品し、ここ数年高い評価を得ている。

#### ウ 自主グループ発表会「ふれあいメディアフェスティバル」の実施

自主グループの日頃の活動の様子や成果を発表し合い、メディア教育に関する知識や技術の向上を図るとともに、お互いの交流や親睦の機会となっている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催中止となった。



制作演習室



パソコン演習室



ビデオ編集室

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
15	—	124	91	164	147	190	315	166	73	136	212	50	1,668
16	176	160	210	247	108	126	186	131	116	107	216	184	1,967
17	118	236	368	434	158	244	245	178	107	264	446	146	2,944
18	119	137	243	250	427	275	248	311	139	198	165	213	2,725
19	199	147	205	273	358	280	244	313	205	275	239	232	2,970
20	270	152	206	387	188	265	296	266	201	275	349	147	3,002
21	272	166	295	294	245	197	296	393	218	320	323	193	3,212
22	154	135	245	206	152	146	229	244	108	174	238	183	2,214
23	176	174	202	207	150	151	280	318	375	137	355	102	2,627
24	291	205	271	218	175	234	249	274	213	223	359	117	2,829
25	198	167	230	171	123	207	156	181	115	201	119	59	1,927
26	226	190	101	141	122	151	188	177	143	165	164	59	1,827
27	151	177	88	142	34	143	106	234	124	142	158	87	1,586
28	83	82	180	77	41	111	112	167	94	180	158	42	1,327
29	135	87	145	96	39	122	143	146	136	189	115	65	1,418
30	151	122	89	67	50	93	122	118	100	61	169	68	1,210
令和1	86	99	65	111	74	100	60	85	67	79	58	10	894
令和2	16	0	0	0	4	40	38	31	32	17	43	29	250

表 オープン当初からの来所研修による利用状況（令和3年3月31日現在）

### Ⅲ 学習情報の提供

#### 1 学習情報の集約・提供

中央センターでは、本センターの事業や取組だけでなく、市町村や大学及びかごしま文化ゾーン施設等が実施する事業の内容等を集約し、情報提供をしている。刊行物は、交流センターに配架し、ホームページ等に掲載している。また、令和2年度からメールマガジンを配信し、各市町村や教育機関等に、国、県の最新情報を届けている。

##### (1) 「生涯学習だより」の発行

県内の生涯学習振興に寄与し、更に県民に必要とされる機関となることを目指して、中央センターの取組を市町村や県民に周知する。

A4判2ページ両面、年6回、奇数月の発行。



##### (2) 「生涯学習講座情報」の発行

県民への生涯学習情報提供の一助となるよう、中央センターが主催・連携して実施する講座等を月毎にまとめたもの。A4判2ページ両面、年5回発行。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止や延期が多く発行回数は減少した。



##### (3) 「生涯学習講座案内」の発行

中央センターが主催・連携して実施する講座や、交流センター内施設及びかごしま文化ゾーン施設が実施する各種講座、県内市町村が実施する講座等を紹介するため、大学等や市町村、関係団体から生涯学習情報を収集し、まとめたもの。A4判、両面28ページ



##### (4) メールマガジンの配信

###### ア 趣 旨

県民の適切な学習機会の選択と自主的な学習活動の取組をサポートするため、メールマガジンの発行を通じて、本センターが開催するメディア研修講座、学びの手帳推進事業等の情報を市町村や教育機関から県民に提供する。

###### イ 発行日と回数

月末日に 月1回 発行

###### ウ 配信対象

市町村教育委員会(43)・教育事務所(7)・教育機関(10)

###### エ 原稿内容

###### (ア) 本センターの講座について

- ・ 今後の予定
- ・ 実施の様子

###### (イ) 各市町村からの情報提供

###### (ウ) 国の動向等

## 2 学習成果の展示

### かごしま県民大学「生涯学習ふれあい展示」の実施

(1) 趣旨

県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場及び市町村等の体験活動などの各種情報を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体・個人の交流を促進し、本県の生涯学習のより一層の振興を図る。

(2) 日時

年3回 午前9時から午後4時まで

(3) 会場

かごしま県民交流センター ギャラリー第1(6階)

(4) 令和2年度実施期間・参加団体一覧

期日		実施団体名	所属市町村等	展示内容
第1回	<small>コロナウイルス感染拡大防止のため、6月から9月に延期</small> 展示期間 設営日 9月18日(金)	1 中央絵手紙友の会	鹿児島市	絵手紙
		2 城西写友会	鹿児島市	写真
	展示期間 9月19日(土)～ 9月30日(金)	3 県立青少年研修センター	鹿児島県	パネル, クラフト
	4 国立大隅青少年自然の家	国	パネル	
	5 精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実	鹿児島市	絵画, 彫刻等	
第2回	設営日 令和2年 12月15日(火)	6 エコクラフト手芸	垂水市	手芸
		7 武岡デジカメ同好会	鹿児島市	写真
	展示期間 12月16日(水)～ 12月27日(日)	8 フォトフレンドたるみず	垂水市	写真
		9 薩摩川内市教育委員会上甕島教育課	薩摩川内市	絵画, 書道等
		10 県立南薩少年自然の家	鹿児島県	パネル, クラフト
第3回	設営日 令和3年 2月9日(火)	11 上之園紀子押花・花クラフト教室	鹿児島市	押花, グラスアート, 花クラフト
		12 布恋人(フレンド)	鹿児島市	着物リメイク, キルト, 絵画
	展示期間 2月10日(水)～ 2月21日(日)	13 [感染症予防のため, 辞退] ペーパーフラワー宮路慶子教室	西之表市	ペーパーフラワー
		14 放送大学鹿児島学習センター	国	パネル, ほか

#### ア 参加者数

	実施月	参加団体数	参加者数(延べ)		
			参加団体・職員	一般入場者	計
第1回	9月	5	182	620	802
第2回	12月	5	109	273	382
第3回	2月	3(辞退1)	102	350	452
合計		13(辞退1)	393	1,243	1,636

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策による辞退

## イ 展示の様子



## ウ 成果と課題

### ・ 成果

- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、第1回は6月開催予定を9月に延期して実施したが、参加団体から「とにかく開催できて良かった」等の声が多く、コロナ禍に停滞気味な生涯学習の推進・充実及び関係団体の交流・情報交換の一助となった。
- 感染防止に特化した「会場準備・展示期間・片付け時のチェックリスト」を作成し参加団体との共通認識を図り、一般入場者への説明と注意喚起を繰り返しながら開催できた。
- 本年度は「受付」に職員を配置し、検温・手指消毒・マスク着用等について徹底を図った。

### ・ 課題

- 生涯学習として取り組んだ作品の発表を更に多くの県民に鑑賞していただくために、効果的な広報・案内について検討したい。
- 会場内での会話・大声等による飛沫感染予防の注意喚起を徹底し、参加団体や一般入場者に対する「3密」禁止や黙観等新型コロナウイルス感染拡大防止に係る説明を図りたい。

### 3 生涯学習資料の展示

(1) 趣旨

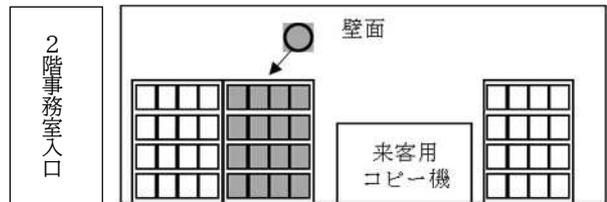
中央センターは、本県の生涯学習の促進等のための中核的な施設として、県、市町村民間教育機関、企業、NPO等の生涯学習に関する情報（チラシ・パンフレット等）の提供及び展示を行う。

(2) 場所

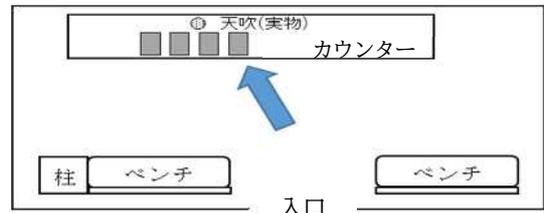
交流センター2階事務室の入口・カウンター、2階（通路壁面・情報コーナー）6階情報サロン

(3) 生涯学習資料展示の様子

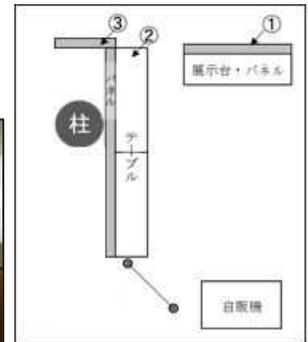
ア 2階事務室入口（主催事業資料、公的な関連事業、関係団体等資料）



イ 2階事務室カウンター（主催事業資料、講座情報、生涯学習だより、楽器「天吹」等）



ウ 2階情報コーナー（展示台・テーブルやパネル等を活用して全国及び生涯学習関連事業、中央センターポスター等を展示（①～③））

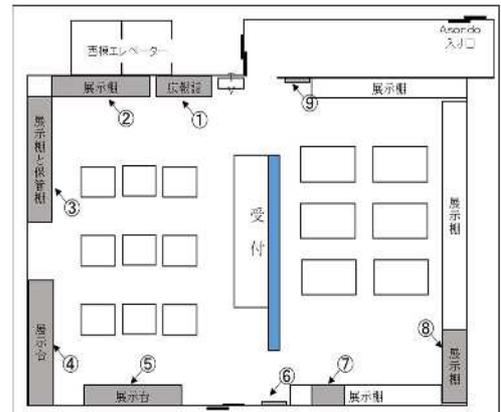


エ 2階通路壁面



※2階学習コーナー横の利用者の多い通路の壁面に、拡大資料を掲示  
中央センターの業務内容を説明したパネル（B2判）を6枚、「生涯学習だより」（A1判）を4枚

オ 6階情報サロン



※43市町村の最新の広報誌を展示するとともにバックナンバーは過去1年分を保管し、県民が自由に閲覧できるようにしている。（①～③，⑧）

## 4 情報システムによる情報提供

### (1) 趣旨

かごしま県民交流センター情報システムにおける生涯学習に関するデータ管理を行い、県や市町村等の情報提供機関との連携・調整を行い、登録情報の活用を図るとともに、中央センターの研修講座等を広く告知し、生涯学習の発展に寄与する。

### (2) 概要

#### ア 指導者・講師情報の提供

##### (ア) 目的

県民の文化、学習及びスポーツ活動などの支援と学習成果を生かすために、生涯学習活動に関する指導者・講師及びボランティア等の情報を収集し、中央センターホームページで提供することで県民の生涯学習活動の促進及び発展を図る。

##### (イ) 指導者・講師情報の登録者

社会教育・社会体育有志指導者、公民館講座等の指導者・講師及び特技・趣味を生かした教室やボランティアなどを行っている人が対象で、令和3年3月31日現在の登録者は1,701人である。

情報分類別登録人数は下表のとおり(実人数と延べ人数の差は、複数分類への登録者による)

分類	人数	分類	人数	分類	人数
生涯学習	583	文学・文芸	28	スポーツ・レクリエーション	118
美術・工芸	54	生活・趣味	124	情報技術	230
歴史・民俗	102	ボランティア・NPO	62	男女共同参画	57
書道	11	青少年・成人・高齢者教育	72	保健福祉	14
舞踊・演芸	51	産業・政治・経済	16	その他	9
音楽	39	自然・社会科学	65	計(延べ人数)	1,701
語学	40	国際交流	26		
				実人数	942人

#### イ ホームページによる情報提供

##### (ア) 目的

県民の適切な学習機会の選択と自主的な学習活動の取組をサポートするため、交流センターの情報システムを通じて、生涯学習や男女共同参画など交流センターの各機能に関する情報とともに県下全域の指導者・講師、視聴覚ライブラリー情報をデータベース化し、インターネットを通じて県民に提供する。

##### (イ) ホームページの内容項目

###### ・メインメニュー

「講座・研修」「学びの手帳」「講師・教材」「展示」「相談」「刊行物」「関係機関」の7つのメニューがあり、様々な情報を得ることができる。

###### ・図書視聴覚資料検索

県視聴覚ライブラリーが保有している視聴覚教材を本システムから検索して貸出状況を確認することができる。

## 5 視聴覚サービス

### (1) 趣旨

ア 中央センターに設置された県視聴覚ライブラリーの円滑な運用を図り、学校教育や社会教育等における視聴覚教材の活用を促進する。

イ 学校教育及び社会教育の学習活動に役立つ映像教材を整備し、地域視聴覚ライブラリー、市町村、県立学校、関係機関・団体等に教材を貸し出す。



県視聴覚ライブラリー

### (2) 概要

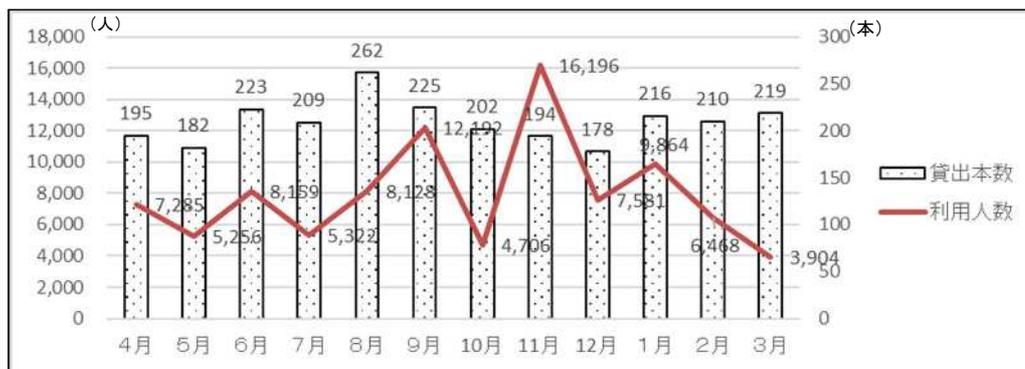
ア 視聴覚ライブラリーは、映像教材を活用し、より分かりやすく具体的な学習や研修を行うための支援をしている。

イ 貸出権・上映権付きの DVD・ビデオ・16 ミリフィルム等映像教材を、営利を目的としないこと等を条件に、学校教育・社会教育等の関係機関・団体に貸し出している。

県視聴覚ライブラリー所有教材数（令和3年3月末現在）

メディア種別	所有本数	メディア種別	所有本数
ビデオ・DVD	2,894本	16ミリフィルム	1,326本

### (3) 令和2年度の視聴覚教材利用状況



### (4) 教材活用促進策

中央センターホームページ上に「最新映像教材一覧」と「よく利用される教材一覧（ジャンルごと）」を掲載している。近年購入した映像教材については、パッケージの画像とともに主な内容や活用ジャンル等を、『映像教材活用事例』（PDF）には、参考として映像教材の活用事例を掲載し、教材の活用促進を図っている。

## 6 生涯学習相談業務

### (1) 趣旨

県民の生涯学習講座の開設状況や講座内容，学習サークルの育成・支援に関する内容等，生涯学習に関する相談に対応する窓口を設置している。

### (2) 方法

電話相談及び来所相談（交流センターの開館日の午前8時30分から午後5時15分まで）

### (3) 場所

交流センター2階事務室

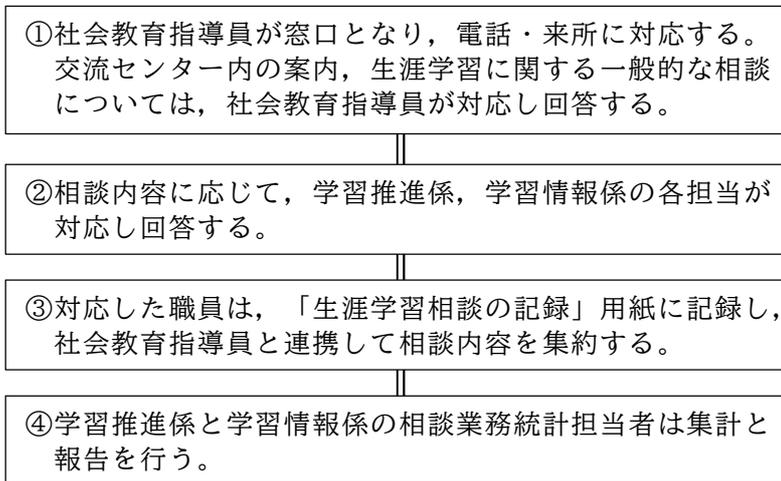
### (4) 対応職員

中央センターの社会教育指導員，社会教育主事及び指導主事

### (5) 内容

「学習施設に関すること」，「指導者に関すること」，「学習機会に関すること」，「学習プログラムに関すること」，「団体・グループに関すること」，「その他」の6つに分類して相談数等を集計している。

### ア 相談業務の流れ



### <生涯学習相談の記録>用紙

生涯学習相談の記録	
1 日時	___月 ___日 ___時
2 形態	来所 電話
3 相談者	一般 学生 教員等 行政 その他( )
4 分類	※1件の相談等で複数の内容を含むときは，その数だけ○をつける。 ( ) ①学習施設 ( ) ②指導者・講師 ( ) ③学習機会 ( ) ④学習プログラム ( ) ⑤団体・グループ ( ) ⑥行政・その他

### イ 相談件数

相談内容	来所	電話	計	割合(%)
学習施設に関すること	0	39	39	2.0
指導者に関すること	0	111	111	5.7
学習機会に関すること	4	50	54	2.8
学習プログラムに関すること	4	8	12	0.6
団体・グループに関すること	7	640	647	33.1
その他	5	1,085	1,090	55.8
計	20	1,933	1,953	100.0

※割合の小計は小数第2位を四捨五入しているため合計の100%と一致していません。

## 7 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業

### (1) 概要

#### ア 目的

生きがいや心の豊かさを求めて、いつでも、どこでも、だれでも、希望する内容と方法で、気軽に学べるようなシステムづくりが必要になっている。

このため、県や市町村等の主催する生涯学習講座の学習機会を県民へ効果的に提供するとともに、その学習者が個々の学習歴を確認したり、学習成果を幅広く生かしたりしていくことを目的とする。

#### イ 概要

中央センターが中心となり、県民の生涯にわたる学習活動を支援し、より学びやすい環境を整備するため、県・市町村・大学等教育機関等と連携して講座、研修等を提供するなど県民の学びを応援し、学習履歴を記録する「学びの手帳」及び「講座案内」を作成して希望者へ配布する。

なお、従前は希望者の申請を受けて手帳を交付していたが、令和2年10月に利用方法を簡便にするため内容を改訂した。

#### (ア) 「学びの手帳」とは

「学びの手帳」(A5判)は、講座や研修会等を受講した際に、その学びの足跡を自分自身で記録していくためのものである。

#### (イ) 入手方法

「学びの手帳」は、県民交流センターや市町村の生涯学習施設・教育機関等に置いてあり、県民の方なら誰でも入手し利用できる。(無料・年齢不問)

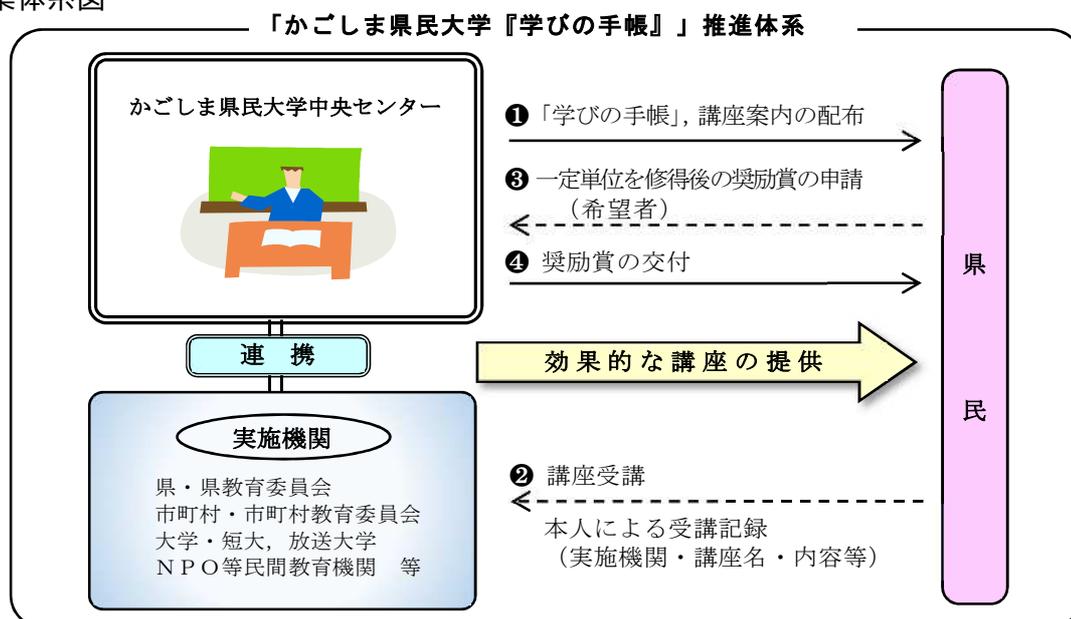
#### (ウ) 奨励賞の交付

県、市町村、大学等教育機関など様々な機関等で行われる講座や研修会等を受講し、「学びの手帳」巻末の「奨励賞申請書」に必要事項を記入して中央センターに申請した方には、40単位ごとに奨励賞(賞状)を交付する。

#### (エ) 生涯学習講座情報の案内

県や市町村等が主催する生涯学習講座情報等を集約し、中央センター発行の「講座案内」(※)や「ホームページ」で紹介する。(※)参照「IV-1 学習情報の集約・提供」

### (2) 事業体系図



## 8 アジア国際子ども映画祭参加作品選定事業

### (1) 目的

子供たちが自ら作成した3分間の映像作品をコンテストするアジア国際子ども映画祭の九州ブロック事務局として、作品を募集するとともに映画祭出品作品を選定する。

### (2) 内容

#### ア 趣旨

- (ア) 子どもたちがホームビデオカメラで作成した映像作品をとおして、自らの心の深層と想いを伝える。
- (イ) 海外の子どもたちが制作した映画作品を鑑賞するとともに多様な価値観を理解し、同世代間の国際交流を進める。
- (ウ) 映画作品に込められた子どもたちの心を真摯に受け止め、青少年がたくましく希望をもって生きていくための社会環境や指導者（大人）のあり方をさぐる。
- (エ) 大学や研究機関と連携し、映画作品から読み取れる子どもたちの心理を把握し、今後の青少年教育に役立てる。

#### イ テーマ

「私の目標は？」

#### ウ 応募資格

九州各県の小学生，中学生，高校生及びそれらの年齢に相当する個人またはグループ

#### エ 募集期間

令和2年6月中旬から8月31日（月）

#### オ 九州ブロック審査

- (ア) 実施日 令和2年9月13日（日）
- (イ) 発表 令和2年9月24日（木）

#### カ 第14回アジア国際子ども映画祭 IN 南あわじ市

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

## IV 調査・研究

### 1 生涯学習に関する調査・研究

#### (1) 学習ニーズ調査

##### ア 目的

令和2年度「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶー講座』」の受講者を対象に調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

##### イ 対象

「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶー講座』」の受講者 373人

##### ウ 調査方法

アンケート法

##### エ 調査の時期

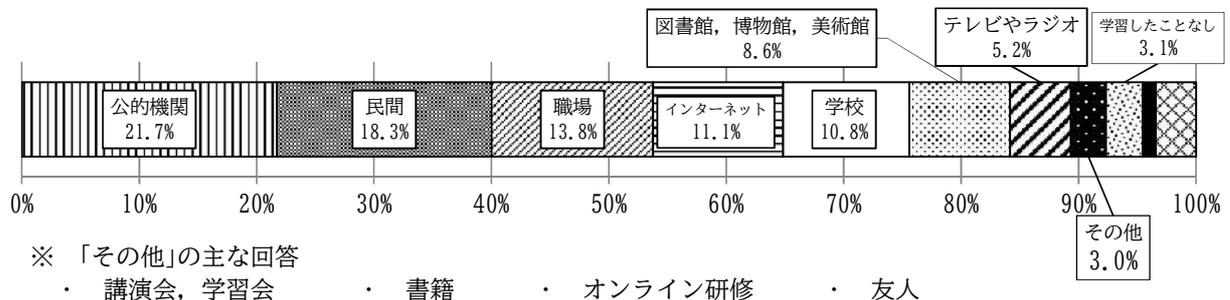
令和2年8月～令和3年2月

##### オ 調査結果

##### (ア) 学習場所・形態

(複数回答, 単位: 人)

場所・形態	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
公的機関		0	0	10	6	32	39	61	52	8	2	0	210	21.7%
民間		0	0	10	8	14	37	58	47	2	0	1	177	18.3%
職場		0	0	16	15	43	36	19	0	4	0	0	133	13.8%
インターネット		0	0	7	6	18	27	36	11	0	1	1	107	11.1%
学校		0	0	6	2	16	18	46	16	0	0	0	104	10.8%
図書館, 博物館, 美術館		0	0	3	4	19	17	26	8	4	1	1	83	8.6%
テレビやラジオ		0	0	0	1	8	11	14	14	2	0	0	50	5.2%
その他		0	0	2	4	3	4	8	8	0	0	0	29	3.0%
学習したことなし		0	0	1	2	7	4	9	7	0	0	0	30	3.1%
分からない		1	2	1	2	1	2	1	1	0	0	0	11	1.1%
無回答		0	0	2	0	0	9	12	8	1	0	1	33	3.4%
合計(延べ)		1	2	58	50	161	204	290	172	21	4	4	967	100.0%
回答者実人数		1	2	25	23	72	76	96	64	10	2	2	373	



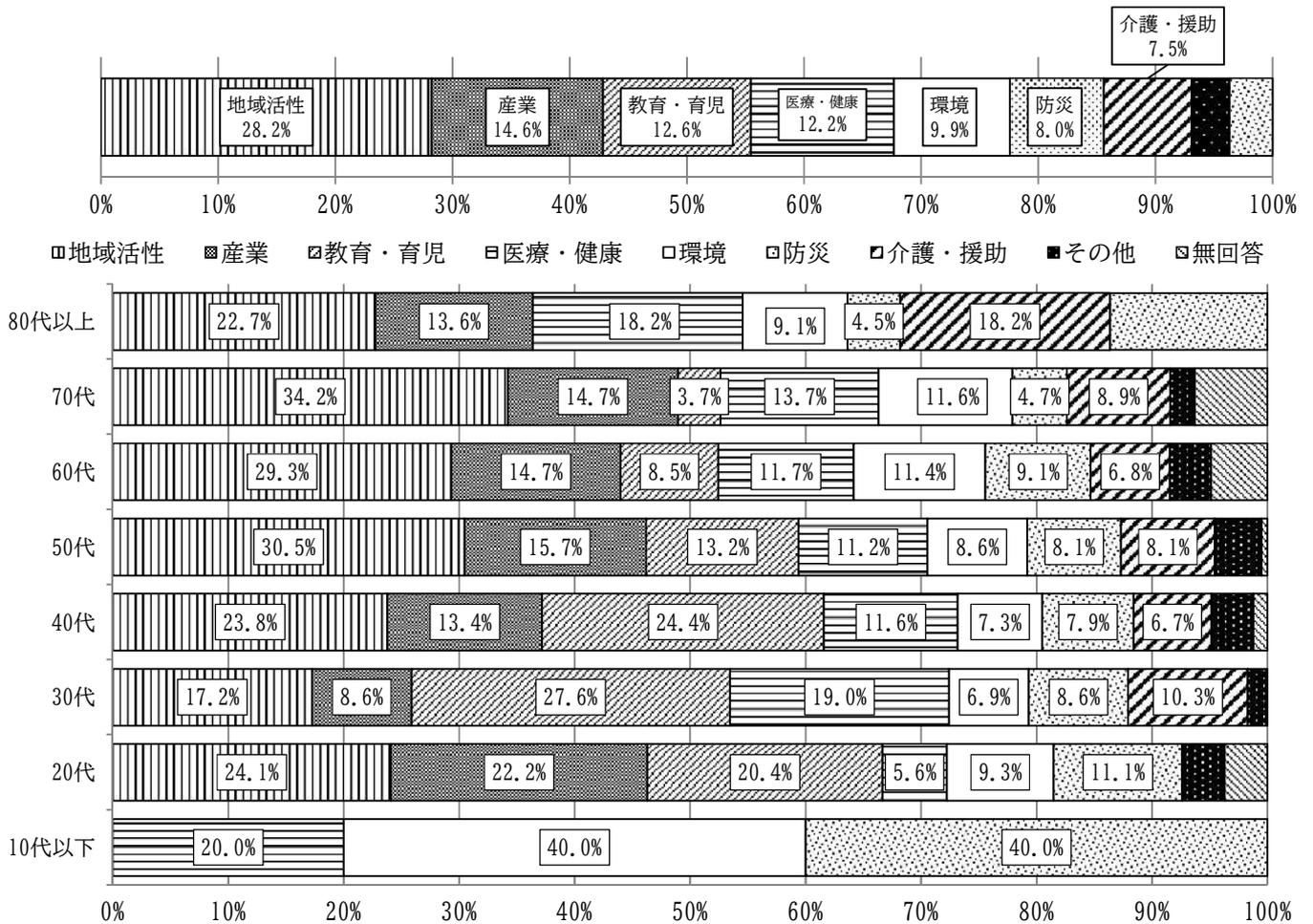
##### (イ) 受講したいテーマ

(複数回答, 単位: 人)

テーマ	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
地域活性		0	0	13	10	39	60	90	65	3	2	0	282	28.2%
産業		0	0	12	5	22	31	45	28	2	1	0	146	14.6%
教育・育児		0	0	11	16	40	26	26	7	0	0	0	126	12.6%
医療・健康		1	0	3	11	19	22	36	26	4	0	0	122	12.2%
環境		0	2	5	4	12	17	35	22	2	0	0	99	9.9%
防災		0	2	6	5	13	16	28	9	1	0	0	80	8.0%
介護・援助		0	0	0	6	11	16	21	17	4	0	0	75	7.5%
その他		0	0	2	1	6	8	11	4	0	0	0	32	3.2%
無回答		0	0	2	0	2	1	15	12	3	0	2	37	3.7%
合計(延べ)		1	4	54	58	164	197	307	190	19	3	2	999	100.0%
回答者		1	2	25	23	72	76	96	64	10	2	2	373	

##### ※ 「その他」の主な回答

- ・ 歴史・文化・民族
- ・ 異常気象, 災害対応
- ・ 国際交流
- ・ 芸術
- ・ 自然科学, 地球科学
- ・ インターネット, ICT

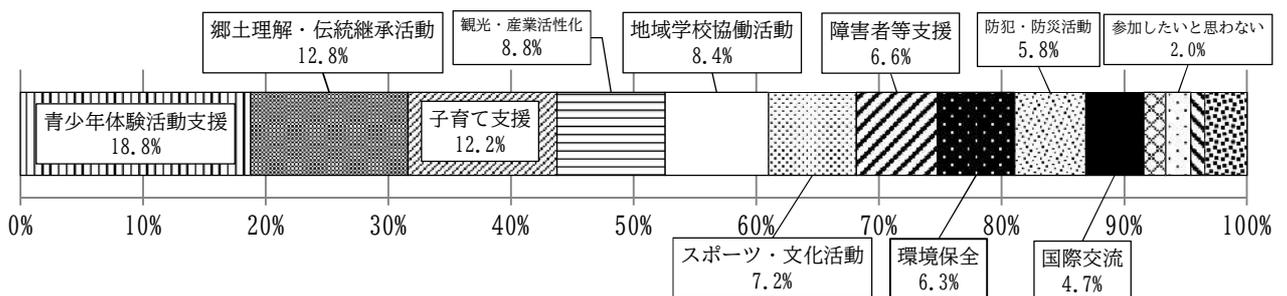


- ・地域活性への関心は特に50代から70代が高いが、どの世代でも比較的兴趣があることがわかる。
- ・産業は20代以上のどの世代にも興味があることがわかる。

(ウ) 受講後に参加したい活動

(複数回答, 単位: 人)

活動	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
青少年体験活動支援		0	0	15	16	37	45	59	56	2	0	0	230	18.8%
郷土理解・伝統継承活動		0	0	9	6	28	32	42	34	4	2	0	157	12.8%
子育て支援		0	0	10	18	34	34	39	14	0	0	0	149	12.2%
観光・産業活性化		0	2	8	8	17	36	19	16	1	1	0	108	8.8%
地域学校協働活動		0	0	6	7	20	28	25	16	1	0	0	103	8.4%
スポーツ・文化活動		0	0	8	7	18	21	15	17	1	1	0	88	7.2%
障害者等支援		0	0	3	6	13	23	21	14	1	0	0	81	6.6%
環境保全		0	0	6	6	12	13	15	24	1	0	0	77	6.3%
防犯・防災活動		0	0	6	3	12	17	18	14	1	0	0	71	5.8%
国際交流		0	0	4	7	13	17	11	4	2	0	0	58	4.7%
その他		0	0	0	0	2	2	5	13	0	0	0	22	1.8%
参加したいと思わない		0	0	1	0	3	2	9	10	0	0	0	25	2.0%
分からない		0	0	0	1	2	2	4	5	0	0	0	14	1.1%
無回答		1	0	2	0	5	6	12	10	4	0	2	42	3.4%
合計(延べ)		1	2	78	85	216	278	294	247	18	4	2	1,225	100.0%
回答者		1	2	25	23	72	76	96	64	10	2	2	373	



(2) 生涯学習に関する調査

ア 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすととともに、生涯学習環境の充実を図る。

イ 対象

県機関等（8部局・教育委員会・県警本部）、市町村（43）、大学・短大等（12）、高等学校（105）、各種学校・専修学校（34）、企業団体（3）、民間教育機関（4）

ウ 調査方法

調査票

エ 調査の時期

令和2年3月～6月

オ 調査結果

(ア) 大学・短大・民間教育機関・企業・団体等の令和元年度の事業数

	講座等開設機関等	講座数	計	受講者数	計	社会人の受入状況			
						特別試験等入学者数	聴講・研究生等受入者数		
1	大学・短大等の公開講座	鹿児島大学	62	196	2,360	6,707	0	234	105
		鹿屋体育大学	15		600		5		0
		鹿児島国際大学	3		333		10		13
		第一工業大学	22		311		0		5
		志学館大学	19		326		1		6
		鹿児島純心女子大学	11		289		0		1
		放送大学鹿児島学習センター	9		392		201		468
		鹿児島県立短期大学	1		206		0		4
		第一幼児教育短期大学	3		6		3		0
		鹿児島女子短期大学	13		314		13		10
		鹿児島純心女子短期大学	25		1,449		1		1
		鹿児島工業高等専門学校	13		121		0		0
2	高等学校 (県立・市立・私立)	県立学校	8校	36	2,000	2,300			
		市立学校	0校	0	0				
		私立学校	2校	3	300				
3	各種学校・専修学校 (開放講座)	公立専修各種学校等	2校	2	257	419			
		私立専修学校等	4校	9	162				
4	企業団体 (講演) (講習会)	県経営者協会		32	2,075	7,027			
		県商工会議所連合会		22	1,223				
		県商工会連合会		175	3,729				
5	民間教育機関	JEUGIAカルチャーセンターイオンモール鹿児島		120	500	23,732			
		南日本放送MBC学園		246	1,390				
		南日本リビング新聞社リビングカルチャー倶楽部		290	8,450				
		山形屋文化教室		72	13,392				

(イ) 県機関の生涯学習関連事業数

実施部署	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
知事部局	総務部	36	36	34	35	32	20
	企画部	5	4	5	5	5	5
	PR・観光戦略部*						5
	環境林務部	15	15	14	13	10	8
	くらし保健福祉部*	14	14	14	14	14	15
	商工労働水産部	9	9	8	7	7	2
農政部	7	7	7	7	8	5	
警察本部	5	4	4	4	4	4	4
教育委員会	117	117	133	137	149	130	120
合計	208	206	219	222	229	194	181

\* 県庁機構改革により平成30年度から「PR・観光戦略部」が新たに設置された。また「保健福祉部」が「くらし保健福祉部」に再編された。

※ 平成30年度までは実施予定調査であったが、令和元年度より実施調査に変更。

(ウ) 市町村における他機関との連携事業の実施状況

1	学校等（幼・保・小・中・高・専修学校・大学等）と連携して開設する生涯学習事業	13市	2町	1村	42件
2	企業等と連携して開設する生涯学習事業	4市	2町	2村	20件
3	民間教育機関(NPO法人、カルチャーセンター等)と連携して開設する生涯学習事業	13市	4町	0村	27件
4	他市町村と連携して開設する生涯学習事業	5市	5町	0村	15件

※ 平成30年度までは実施予定調査であったが、令和元年度より実施調査に変更。

## 2 かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会

### (1) 概要

大学等（高等教育機関）の知の財産を活用したさらなる生涯学習の振興を図るために、県内の大学等に呼びかけて、かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会（以下「懇談会」という。）を開催し、県と大学等の共催による講座等の開催や、本センター主催事業への参画などについて幅広く情報交換を行う。

### (2) 事業内容

#### ア 目的

大学等が持つ知の財産を県の事業に反映していく。

- (7) 大学等がもつ専門的な知識や研究の成果等を県民に還元する講座等を提供する。
- (イ) 大学等が持つ調査・研究力を県の事業に反映させ事業の改善・充実に生かす。
- (ウ) 大学等が行政に期待する事項等を把握することで相互にメリットのある連携を模索する。
- (エ) 永続的なネットワークの仕組みを構築する。（大学コンソーシアム等）

#### イ 内容

- (7) 懇談会開催のための企画部会の開催と事業計画の作成
- (イ) 懇談会の開催

懇談会は県内国公立大学、私立大学、高等専門学校など、県内の大学等に幅広く呼び掛ける。

### (3) 企画部会

#### ア 日時

令和2年8月25日（火）15:00～16:00

#### イ 場所

鹿児島大学共通教育棟2号館

#### ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門）

・小栗 有子 准教授   ・酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科

・金子 満 准教授   ・農中 至 准教授

かがしま県民大学中央センター 2名

#### エ 内容

- ・懇談会のテーマについて
- ・懇談会の内容、運営について ほか

### (4) 懇談会

#### ア 日時

令和2年11月14日（土）14:00～15:30

#### イ 場所

交流センター制作演習室

## ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門）

小栗 有子 准教授

酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科

金子 満 准教授

農中 至 准教授

鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流センター長

河野 一典 教授

鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系

前田 博子 教授

第一工業大学 社会・地域連携センター長

福山 厚子 教授

かごしま県民大学中央センター 所長兼生涯学習課長

青谷 有美代 外6名

## エ 内容

### (7) テーマ

本県の生涯学習推進のための、市町村支援の立場に立った生涯学習推進センター（かごしま県民大学中央センター）と高等教育研究機関としての大学等の協力体制のあり方

### (1) 詳細

- ・ 趣旨説明，中央センターの役割と取組
- ・ 現状の共有～大学等が実施する公開講座や地域貢献事業等の状況
- ・ 協議

### (ウ) 主な意見

〈大学等が実施する公開講座や地域貢献事業等の状況〉

- ・ 産学・地域共創センターが運用されて3年目である。企業との関わりは強まっているが行政・NPO等との関わりが薄い。大学と地域を結ぶ新しい制度づくりが必要である。
- ・ 県内の各教育委員会社会教育課・生涯学習課との繋がりを強化する必要がある。
- ・ 社会教育・生涯学習における学生教育・社会人教育の必要性を感じている。
- ・ 市町村からはコミュニティにおけるプラットフォームづくりの支援要請がある。人材育成の重要性を感じている。（大学における社会教育主事・社会教育士の育成）
- ・ 学生が大学の枠を超えて、どの大学の講座も受講することができるようになれば素晴らしい。中央センターによるプラットフォームの整備を期待する。
- ・ 住民向けの健康講座・指導講座を開催しているが、なかなか人が集まらない。
- ・ 地元で愛される、必要とされる大学になることが重要である。公開講座はコロナの影響もあり、YouTubeやローカルTVでも流している。
- ・ 地域創生のために、市民レベルの面白さ、魅力ある講座・事業を提供している。

〈グループ協議での主な意見〉

- ・ それぞれの所属で所属長が変わっても連携できる仕組み作りが進んでおり、本会は時宜を得た取組である。
- ・ 中央センターには、大学同士を繋ぐハブの役割も担ってほしい。
- ・ 市町村を支援する上で、何をテーマに連携するのか、課題のマッチングを丁寧に行う必要がある。
- ・ 県民の生涯学習支援は大学の使命でもある。特に、離島を有する鹿児島にあっては大学にとっても意義深いものである。

